

平成 27 年度 事業報告書

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

目 次

I 法人の概要

- 1 法人の名称
- 2 法人の所在地
- 3 認可年月日
- 4 沿革及び学園の組織
 - (1) 学園の沿革
 - (2) 学園の組織
 - (3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名
 - (4) 設置する学校・園の名称及び所在地
 - (5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生・生徒・園児数の状況
 - (6) 設置する学校・園・学科等教員・保育士数の状況

II 事業の概要

※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

III 財務の概要

※別紙資料の通り

学校法人 三浦学園

I 法人の概要

1 法人の名称

学校法人 三浦学園

2 法人の所在地

東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号

3 認可年月日

昭和 26 年 3 月 9 日

4 沿革及び学園の組織

(1) 学園の沿革 (別紙参照)

(2) 学園の組織 (別紙参照)

(3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名

①理事・監事

〈平成 28 年 3 月 31 日現在〉

| 役職 | 職名・担当職務 | 氏名 | 現職 |
|----|---------|--------|-------------------|
| 理事 | 理事長 | 三浦 洋義 | 学園長 |
| 理事 | 常務理事 | 根岸 順一 | 法人本部事務局長 |
| 理事 | | 氏森 英亞 | 有明教育芸術短期大学学長 |
| 理事 | (学外) | 志賀 平治 | |
| 理事 | (学外) | 井上 嘉明 | 井上税務会計事務所長 |
| 理事 | (学外) | 富永 光太郎 | (株)リヴィジョン代表取締役社長 |
| 監事 | (学外) | 朝倉 和行 | (株)朝倉代表取締役 |
| 監事 | (学外) | 村 滋 | (有)ムラ・アソシエイツ代表取締役 |

②評議員

| 役職 | 職名・担当職務 | 氏名 | 現職 |
|-----|---------|-------|-----------------|
| 評議員 | | 三浦 洋義 | 学園長・理事長 |
| 評議員 | | 根岸 順一 | 常務理事・法人本部事務局長 |
| 評議員 | | 中西 菊乃 | 有明教育芸術短期大学事務局次長 |
| 評議員 | | 井田 良克 | 日本音楽高等学校長 |
| 評議員 | | 水本 眞澄 | 日本音楽学校幼稚園長 |
| 評議員 | | 金子 慶子 | 日本音楽学校保育園長 |
| 評議員 | | 渋谷 匡 | 法人事務局広報課長 |
| 評議員 | (学外) | 新井 清 | (有) 希望商事代表取締役 |
| 評議員 | (学外) | 橋爪 弥生 | 日本音楽高等学校同窓会幹事 |

| | | | |
|-----|------|--------|---------------|
| 評議員 | (学外) | 平井 キミ子 | 日本音楽高等学校同窓会監査 |
| 評議員 | (学外) | 森戸 由久 | 創価女子短期大学名誉教授 |
| 評議員 | (学外) | 志澤 徹 | 志澤綜合法律事務所 弁護士 |
| 評議員 | (学外) | 根本 美香 | 根本美香バレエスクール主宰 |

(4) 設置する学校・園の名称及び所在地

| 名称 | 所在地 |
|---|-----------------------------|
| 有明教育芸術短期大学 子ども教育学科 芸術教養学科 | 〒135-0063 東京都江東区有明二丁目9番2号 |
| 日本音楽高等学校 普通科 (幼児教育コース) 音楽科 (音楽コース) (バレエコース) 〈舞台芸術コース〉 | 〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目16番12号 |
| 日本音楽学校幼稚園 | 〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目16番12号 |
| 日本音楽学校保育園 | 〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目16番12号 |

(5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生・生徒・園児数の状況

〈平成27年5月1日現在〉

| | 入学定員 | 収容定員 | 学生生徒園児 現員数 | 平成27年度 |
|---------------|------|------|---------------|--------|
| | | | | 入学者数 |
| 有明教育芸術短期大学 | 100名 | 480名 | 332名 | 109名 |
| 子ども教育学科 | 100 | 300 | 295 | 109 |
| 芸術教養学科 | 0 | 90 | 37 | 0 |
| 日本音楽高等学校 | 100 | 300 | 215 | 71 |
| 普通科 (幼児教育コース) | 30 | 90 | 33 | 9 |
| 音楽科 (音楽コース) | 70 | 210 | 45 | 10 |
| (バレエコース) | | | 83 | 27 |
| 〈舞台芸術コース〉 | | | 54 | 21 |
| 日本音楽学校幼稚園 | 35 | 150 | 103 | 35 |
| 日本音楽学校保育園 | 9 | 26 | 31 | 9 |

(6) 設置する学校・園・学科等教員・保育士数の状況 (平成27年5月1日現在)

①短大教員

| 設置校名 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 合計 | 兼務者 |
|------------|----|-----|----|----|----|----|-----|
| 有明教育芸術短期大学 | 11 | 7 | 3 | 0 | 0 | 21 | 37 |
| 子ども教育学科 | 5 | 6 | 3 | 0 | 0 | 14 | 20 |
| 芸術教養学科 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 7 | 17 |

*学長は教授に算入

②高校教員・幼稚園教員・保育園保育士

| 設置校名 | 専任教諭・保育士 | 兼務者 |
|-----------|----------|-----|
| 日本音楽高等学校 | 16 | 45 |
| 日本音楽学校幼稚園 | 6 | 0 |
| 日本音楽学校保育園 | 10 | 0 |

II 事業の概要

※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

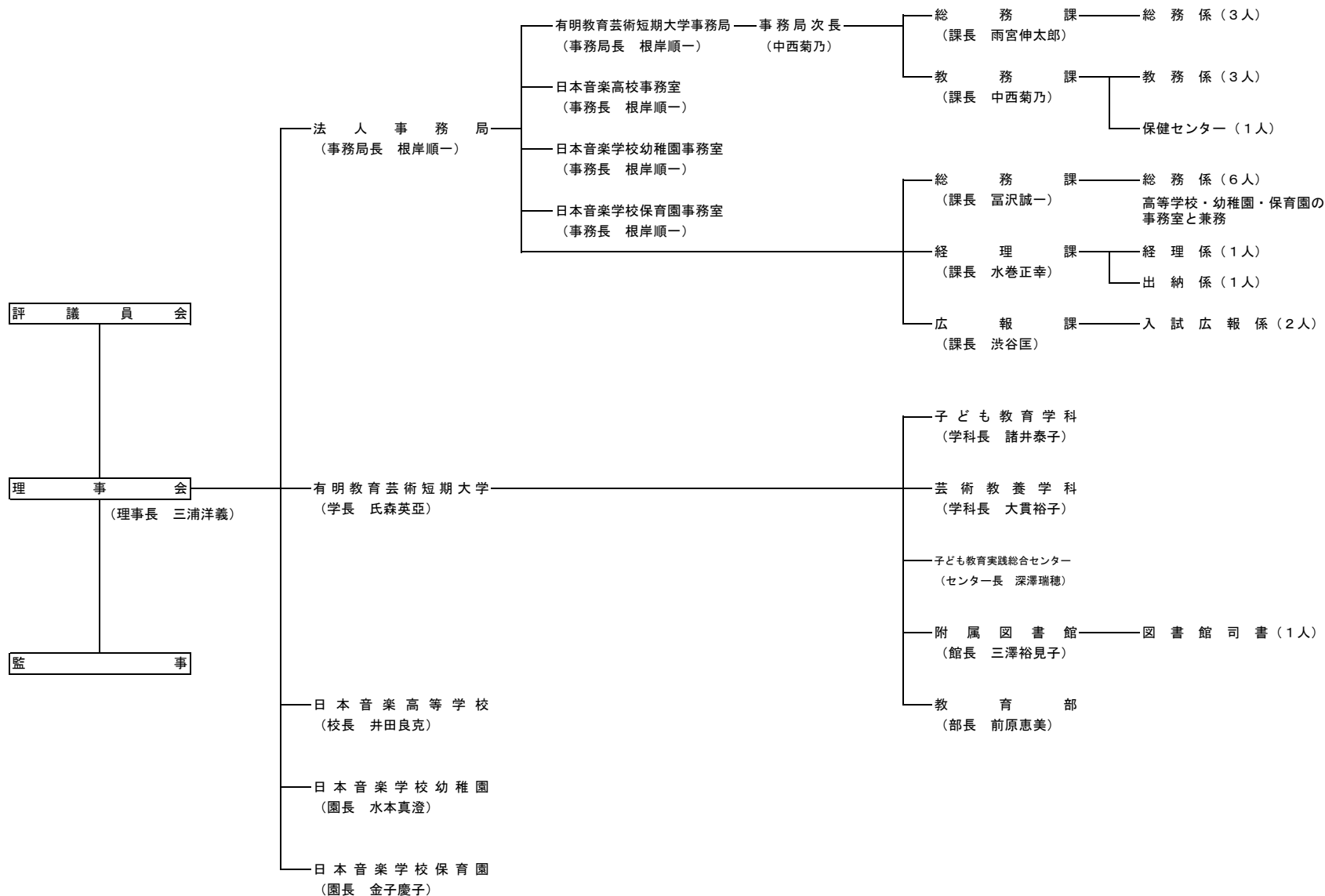
III 財務の概要 別紙資料の通り

I - 4 - (1) 学園の沿革

| | | |
|-------|------------------------|---|
| 法人の沿革 | 明治36年 | 山田源一郎により我が国初の私立音楽学校「音楽遊戯協会」として神田淡路町に創立 |
| | 明治39年 | 女子音楽学校(女子)・日本音楽協会(男子)に名称変更 |
| | 大正12年 | 校舎を中野打越に移転 |
| | 昭和2年 | 日本音楽学校に名称変更。創立者・初代校長 山田源一郎死去 |
| | 昭和22年 | 校舎を品川区豊町に移転 |
| | 昭和24年 | 日本音楽学校附属幼稚園および日本音楽学校附属入新井幼稚園を設置 |
| | 昭和25年 | 日本音楽学校附属豊小学校、日本音楽学校附属豊中学校、日本音楽高等学校を設置 |
| | 昭和28年 | 日本音楽学校に我が国初の教員養成機関(中学校音楽教諭養成科)を設置し、文部大臣の指定認可を受ける |
| | 昭和29年 | 日本音楽学校に文部大臣指定の幼稚園教諭養成科を設置 |
| | 昭和36年 | 日本音楽学校附属入新井幼稚園を廃止 |
| | 昭和47年 | 日本音楽学校に厚生大臣指定の保育養成科を設置 |
| | 昭和53年 | 日本音楽学校が専修学校に認可 |
| | 昭和63年 | 日本音楽学校創立85周年事業の一環として2号館校舎(教室、中ホール)竣工 |
| | 平成4年 | 日本音楽学校創立90周年事業の一環として三浦記念館(大ホール、幼稚園舎、視聴覚教室、特別教室)竣工 |
| | 平成5年 | 三浦洋義理事長及び学園長に就任 |
| | 平成7年 | 日本音楽学校附属豊小学校及び日本音楽学校附属豊中学校を廃止 |
| | 平成9年 | 日本音楽学校にレクリエーション・インストラクター資格者と児童厚生指導員の養成課程設置 |
| | 平成11年 | 厚生大臣指定東京聖星社会福祉専門学校(介護福祉学科)設置 |
| | 平成13年 | 日本音楽学校保育園設置 |
| | 平成15年 | 日本音楽学校創立100周年 |
| | 平成20年 | 有明教育芸術短期大学 認可(10月31日) |
| | 平成21年 | 有明教育芸術短期大学子ども教育学科及び芸術教養学科の二学科で開学 |
| | 平成22年 | 日本音楽学校を廃止 日本音楽学校附属幼稚園を日本音楽学校幼稚園に園名変更 |
| | 平成23年 | 日本音楽高等学校 音楽科「舞台芸術コース」設置 東京聖星社会福祉専門学校を廃止 |
| 平成26年 | 有明教育芸術短期大学芸術教養学科学生募集停止 | |

I - 4 - (2) 学園の組織

(平成28年3月31日)



1 教育活動

- ・平成 28 年度の芸術教養学科の廃止に備え、学則を含む諸規程等の整備を行った。
- ・通常の時間割及び大学歴に従って授業を行い、実施上に特段の問題はなかった。
- ・2016 年度学生ハンドブックを作成し、学生及び教職員に配布した。
- ・欠席の多い学生に対する教務委員及びクラス担任による指導を継続した。
- ・芸術教養学科 2 年生全員 (34 名) が卒業し、同学科に在籍する学生が卒業した。
- ・以下の FD 活動(前年度と同様)を行った。
 - ①授業評価の実施とその結果に関する教員からコメントの回収。
 - ②教員相互による授業見学

2 研究・研修活動

- ・紀要の編集要項及び執筆・投稿要領について再検討し、整合性を図った。
- ・紀要第 7 巻を刊行した。原著論文 3 編、実践研究 2 編、研究ノート 1 編を掲載した。
- ・本学教員を代表者とする 2 題 (継続) が文部科学省科学研究費助成金を受けた。
 - ①若手研究 B : 「保育者養成における劇表現指導法」、研究代表者 山本直樹
 - ②基礎研究 C : 「江戸～大正期の常磐津節演奏家研究」 研究代表者 前原恵美

3 学生募集活動

- ・ホームページの入学試験情報を更新した。
- ・オープンキャンパスを 13 回実施した。
 - ①参加した受験対象者数 : 171 名 (実数)
 - ②オープンキャンパス参加した受験生の本学への出願率 (数) : 29.8% (51 名)。
- ・本学見学者は 27 名で、その 17 名 (51.9%) が本学に出願した。
- ・高校内進路ガイダンス出席者は 163 名で、その 7 名 (4.3%) が本学に出願した。
- ・訪問した高校は 492 校であった。
- ・資料請求件数は 1609 件であった。

4 入学試験

- ・芸術教養学科は、募集停止のため入学試験を実施しなかった。
- ・子ども教育学科は、AO 入学試験 (7 回)、推薦入学試験 (4 回)、一般入学試験 (2 回) を実施した。
 - ①出願者 65 名 (AO 入試 31 名、推薦入試 25 名、一般入試 3 名、日音 6 名)
 - ②入学者 62 名

5 修学支援

- ・授業料の減免制度 (学則第 67 条) 及び入学金の免除制度 (学則第 68 条) による修学支援や学納金免除措置等による修学支援を行った。
 - ①前期 : 授業料減免者 5 名、適用金額 50 万円
 - ②後期 : 授業料減免者 8 名、適用金額 53 万円
 - ③入学金免除者 2 名、免除額 56 万円
- ・卒業研究指導の一環として資料検索法に関するガイダンスを行った。
- ・履修カルテ

6 学生生活支援

- ・新入生対象に図書館利用に関するガイダンスを行った。
- ・毎年行っている新入生研修を実施した。
 - ①実施年月日 平成27年4月24日(金)～25日(土)
 - ②場所 長野県茅野市 車山高原
 - ③参加者 1年生107名(欠席者2名)、2年生6名、教職員9名、合計122名
 - ④宿泊研修経費 1,888,414円
- ・サークル及び学生有志(同好会)による学内活動を指導するとともに、「学生の課外活動に関する規則」を定めた。
- ・有明祭開催を支援した。学生の教育活動全体の活性化に繋がる行事として93,350円を補助した。
 - ①開催日時:10月31日(土)～11月1日(日)
 - ②内容:学生による発表会・模擬店等
 - ③来場者:290名
- ・学生による図書館利用の活性化を図るための読書感想文コンクール(応募件数5件)を実施した。
- ・学生相談室を通して学生の悩みに対応した。
 - ①相談件数:2件
 - ②延べ相談回数:9回
 - ③相談内容:対人関係、学業、精神的問題
- ・喫煙、盗難、施設使用等についてポスターの掲示や授業で学生の注意を喚起した。

7 実習支援

- ・実習関連スケジュール一覧を作成し、ホームページに掲載した。
- ・教育実践総合センター主催の親子サロンの時間を活用したプレ実習(1年生)事後指導を行った。

8 キャリア・就職支援

- ・学生ボランティア(全学年)を募り、子育ての実際(教育実践総合センター事業)を学ぶ機会を提供した。
- ・平成26年度の卒業生にアンケート調査を実施し、就職活動支援の参考資料とした。
- ・進路調査と登録:全学年生対象に進路について調査・登録(4～6月)した。また、芸術教養学科2年生対象に進路面接(6月)を行った。
- ・就職活動ガイダンス、就職活動セミナー、学内企業等説明会、一般企業希望者向けのガイダンス、就職試験対策講座、教員採用試験面接練習、公立保育士模擬試験を行った。
 - ①就職活動ガイダンス:子ども教育学科1年生1回、2年生1回、3年生2回
 - ②就職活動セミナー:子ども教育学科3年生1回、芸術教養学科2年生3回
 - ③学内企業等説明会:子ども教育学科3年生4回(3年生)
 - ④一般企業希望者向けのガイダンス:子ども教育学科2・3年生3回、芸術教養学科2年生1回
 - ⑤就職試験対策講座:子ども教育学科1・2年生6回、3年生2回
 - ⑥教員採用試験面接練習:子ども教育学科3年生、3回
 - ⑦公立保育士模擬試験:子ども教育学科3年生、1回
- ・保護者向けのガイドブックを編集・発行した。
- ・子ども教育学科の就職希望者の就職率は100%であった。芸術教養学科の就職希望者の就職率は55.9%であった。

9 役職者の交代、役職の廃止

- ・平成 27 年 3 月 31 日付で原学長の退職に伴い、平成 27 年 4 月 1 日付で氏森英亞氏（前教育実践総合センター長）が学長に就任した。
- ・羽田紘一副学長が離任し、その後任については当面補充しないこととした。
- ・平成 27 年 4 月 1 日付で深沢瑞穂准教授が子ども教育実践総合センター長に就任した。
- ・芸術教養学科廃止により子ども教育学科のみとなったため、教育部長職を平成 28 年度から廃止することとした。

10 教員人事（採用と退職）

- ・平成 27 年 3 月 31 日付退職者の大貫耕一准教授の後任として、平成 27 年 4 月 1 日付で菊池大介氏を講師として採用した。
- ・平成 28 年 3 月 31 日付で子ども教育学科所属の小嶋成夫教授、羽田紘一教授が退職した。また、芸術教養学科の廃止により、Jason Arcari 教授、辻元早苗教授、花柳翫一教授、森本恭正教授、前原恵美教授、大貫裕子教授、中野茂樹准教授が退職した。
- ・子ども教育学科平成 28 年 3 月 31 日付退職者（子ども教育学科）の後任人事を行った。

11 教員人事管理

- ・教員の学外活動について適正な管理を行った。
- ・専任教員の研修 192 件を承認した。
 - ①子ども教育学科：122 件
 - ②芸術教養学科：70 件
- ・他大学非常勤勤務 8 件を承認した。
 - ①子ども教育学科：5 件
 - ②芸術教養学科：3 件
- ・その他、次の教員の学外活動を承認した。
 - ①諸井泰子：江東区文化コミュニティ財団、外部評価委員、区民企画講座審査委員
 - ②深沢瑞穂：江東区教育委員会幼稚園主任研修会講師
 - ③前原恵美：江東区有明中学校合唱コンクール審査委員
 - ④大貫裕子・花柳翫一・前原恵美：江東区文化コミュニティ財団「公開講座」

12 自己点検・評価

- ・平成 26 年度「自己点検・評価報告書」を作成した。
- ・一般財団法人短期大学基準協会の第三者評価を受け、「適格」の判定を受けた。

13 施設整備管理

- ・施設の学外貸出件数は、13 件であった。

14 人権

- ・人権に関する啓発リーフレットを作成し、オリエンテーション実施時、全学生に配布するとともに、事務局前に常備し教職員及び学生が必要に応じて利用できるようにした。
- ・人権に関わる講習会を実施した。
 - ①実施年月日：平成 27 年 7 月 24 日
 - ②テーマ：人権に関する講習会
 - ③講師：東京法務局人権擁護専門官渡辺利治氏
 - ④対象：全学年教職員

- ・人権委員会への相談依頼はなかった。

15 対外活動

- ・特別連携校（日本音楽高等学校及び東京都篠崎高校）との教育連携を行った。
- ・東京都立桐ヶ丘高校（山田・杵鞭担当）、横浜市立さちが丘小学校（中野担当）、東京都立篠崎高校、（羽田・広報課担当）、東京都立第三商業高校（山田・木庭担当）、東京都立美原高校（山田・木庭 担当）で出前授業を行った。
- ・山形市立第十中学校（三澤担当）、東京都立大森田高校（赤坂担当）、品川エトワール女子高校（広報課担当）からの校内見学があった。

16 地域社会との連携に向けた事業

- ・公開講座を開催した。
 - ①「障害児の自立に向けた保護者支援」
開催日時：平成 27 年 11 月 28 日
話題影響者：こども発達支援センターそらいろ 中島展氏
足立区障がい福祉センター 前川圭一郎氏
参加者：32 名
 - ②「子どもが食べてくれる簡単離乳食」
開催日時：平成 28 年 3 月 10 日 3 件
講師：江東区城東保健所 古郷理絵氏
参加者：親子 12 組
- ・子ども教育実践総合センターによる子育て支援事業
 - ①親子サロン・FURAN 実施
実施回数：年間 33 回
参加者数：乳幼児延べ 192 名、保護者延べ 171 名
 - ②「親子で楽しむ夏祭り」の実施
開催日時：平成 27 年 8 月 27 日
参加者：64 名
 - ③子ども発達相談
月～金曜日の 10:00～16:00、申し込みに応じて随時実施
相談件数：1 ケース
- ・学生のボランティア活動に関する江東区教育委員会との連携について協議を重ねた。

平成27年度 日本音楽高等学校 学校経営指針に基づく事業報告

I 目指す学校経営 この目標を達成するためにIIの通り実施した。

II 平成27年度の取組み

1 生徒募集への積極的な取組み 平成28年度入学者数等

・平成28年3月2日(水)段階での平成28年度入学者数等。()内の数値は昨年度

| | | | | | | | | |
|-------------------|------|--------|------|------|------|--------|----|--------|
| 入学者数 (67(67)名)の内訳 | 応募者数 | 90名 | 受験者数 | 89名 | 合格者数 | 83名 | | |
| 幼児教育 | A | 4(5) | B | 0(0) | 一般 | 7(4) | 合計 | 11(9) |
| 音楽 | A | 15(5) | B | 0(0) | 一般 | 4(5) | 合計 | 19(10) |
| バレエ | A | 17(22) | B | 0(1) | 一般 | 5(3) | 合計 | 22(26) |
| 舞台芸術 | A | 12(14) | B | 0(1) | 一般 | 7(4) | 合計 | 19(19) |
| 合計 | A | 48(46) | B | 0(2) | 一般 | 23(16) | 合計 | 71(67) |

・目標の100名の実現が出来ず、71名である。

次年度には定員の100名の入学の実現に向けて引き続き尽力する。

2 入学選抜の適正な実施

・入学選抜に係わる試験問題の検討と作成及び願書の受付から合格発表、入学手続きまでの入学選抜に係わる進行管理は適正に行われた。

3 高校生活への満足度が高く健康で明るく礼儀正しい生徒の育成

・原則に基づきつつも柔軟な指導で高校生活への満足度を高め、非進級者数0を目指して先生方による丁寧な指導が行われた。0は実現できなかった。昨年度の非進級者数10名より多い11名であった。0の実現を目指す必要がある。

・平成27年度の次学年への非進級者数は(3年は非卒業者数)

1 幼2名、1音1名、1バ3名、1舞0名 1年6名(4月1日付在籍67名)

2 幼0名、2音2名、2バ0名、2舞2名 2年4名(4月1日付在籍63名)

3 幼0名、3音1名、3バ0名、3舞0名 3年1名(4月1日付在籍85名)

合計幼2名、音4名、バ3名、舞2名 全体合計11名

・HR等での細やかな指導や保護者との情報交換を時機を逸せずに行った。校則を守らせる指導、教室を含めた校内の美化整備を学校として更に進める必要がある。

4 基礎的な学力の定着及び生涯学習の意欲の向上と希望の進路を実現する学力の養成を図る

・生徒の興味関心を喚起し理解度を高め学ぶ意欲を育成する授業の改善を組織的に行い学校としての授業力の向上を図る為、年に2回生徒による授業評価を実施し、その結果に基づき教員全員での研修会を2回行った。各教員が個人の結果に基づき、課題と改善の具体的な方法を報告しそれに基づき意見の交換を行い授業の改善方法についての共通認識を図った。授業評価の意義を教員自らが理解する事が今後の課題である。

・平成27年9月30日(水) 教員研修会(1回目)

・平成28年1月27日(水) 教員研修会(2回目)

・基礎的な学力の向上と定着のために朝学習を実施した。

月曜日から金曜日までの5日間と必要に応じて土曜日に音楽を実施

実施時間は午前7時40分から8時10分までの30分間

国語 月(基礎) 金(実力) 数学 火 英語 水(基礎) 木(実力)

音楽 土 1回300円を授業者に支払う。

国語 森田教諭 6 1 回 奥山教諭 6 2 回 数学 伊庭教諭 2 9 回 英語
菅沼教諭 5 1 回 兒玉教諭 5 4 回 音楽 松田教諭 1 2 回 小川教諭 1 5 回
実施した。

- 今年度は、国語と英語において、基礎学力の定着と実力の養成に分けて曜日を設定したが、実力の養成への参加者数は少数であった。
- 学習意欲の喚起と持続的で自主的な学習習慣の定着の工夫を行い、来年度も学習の場としての朝学習の機会は設けたい。
- 希望の進路の実現を目指し、学力の向上のために放課後と夏季休業日に講習を実施した。 1 コマ (90 分) 1000 円を授業者に支払う。(講師を除く)

第一期 平成 27 年 7 月 22 日 (水)、23 日 (木)、27 日 (月)、28 日 (火)

第二期 平成 27 年 7 月 29 日 (水)、30 日 (木)、31 日 (金)、

8 月 3 日 (月)、24 日 (月)、25 日 (火)

7 月 22 日 (水) 国語 (実力、基礎)、倫理、数学

7 月 23 日 (木) 国語 (実力、基礎)、倫理、数学

7 月 27 日 (月) 国語 (実力、基礎)、数学

7 月 28 日 (火) 国語 (実力、基礎)

7 月 29 日 (水) 英語 (実力、基礎)、日本史 B

7 月 30 日 (木) 英語 (実力、基礎)、日本史 B

7 月 31 日 (金) 英語 (実力、基礎)、日本史 B

8 月 3 日 (月) 英語 (実力、基礎)、日本史 B

8 月 24 日 (月) 倫理

8 月 25 日 (火) 倫理

森田教諭 90 分 × 4 コマ 奥山教諭 90 分 × 4 コマ

塚本教諭 90 分 × 4 コマ 伊庭教諭 90 分 × 3 コマ

菅沼教諭 90 分 × 4 コマ 兒玉教諭 90 分 × 4 コマ

鈴木講師 90 分 × 4 コマ (出講票にて対応)

5 一歩進んだ自己実現を図る系統的で組織的で個に応じた進路指導を実施

- 各学年とも年間計画に基づきそれぞれの企画が実施された。
学年全体での企画として、面接への対応についての指導、進路ガイダンスと進路体験報告会を実施した。

• 進路体験報告会の実施

平成 27 年 7 月 17 日 (金) 1 校時 全生徒対象

講師

- 小川裕美子さん (本校音楽科音楽コース平成 24 年 3 月卒業、昭和音楽大学短期大学部トランペット専攻科 (入学後 2 年次にピアノ専攻科に転科) 平成 26 年 3 月卒業)、現在、河合楽器製作所河合音楽教室に勤務
- 三原未来さん (本校音楽科バレエコース平成 18 年 3 月卒業)、現在、NBA バレエ団アーティスト (団員)

• 進路ガイダンスの実施

平成 27 年 12 月 12 日 (土) 2, 3 校時 1, 2 年生対象

2 校時、3 校時 有明教育芸術短期大学 (短大希望者を含む)、四年制大学 6 校、

専門学校 10 校、2, 3 校時で入れ替え 2 校の説明が聞ける様に設定

四年制大学希望者は大学のパンフレットに基づき調べ学習

• 進路体験報告会

平成28年3月7日(月)6校時 1, 2年生対象

今年度の各コースの卒業生一人ずつ、合計4人と平成25年度バレエコース卒業生姜愛那さん(平成28年4月から全日空にキャビンアテンダントとして勤務予定)に進路に向けた高校での学習などを含めた高校での生活の話をしてもらった。それぞれの話を1, 2年生は真剣に聞いていた。

一歩、二歩進んだ進路希望を立て、実現のための具体的な行動を起こす様に個別の指導を含めて計画的に進路指導を引き続き行うことが必要である。

話しをしてもらった卒業生

幼児教育コース 中澤美歩(有明教育芸術短期大学子ども教育学科)

音楽コース 長島彩(洗足学園音楽大学音楽学部声楽コース)

バレエコース 松尾光華(日本大学芸術学部演劇学科洋舞コース)

舞台芸術コース 伊藤凜音(東京ダンス&アクターズ専門学校テーマパークダンサーコース)

卒業生(平成25年度バレエコース) 姜愛那(全日本空輸に四月から勤務、日本外国語専門学校エアライン科キャビンアテンダントコース卒業)

- ・平成27年度卒業生の進路状況は次の通りである。
 - ・幼児教育(15名) 大学2 短大9(内 有明短大5) 専門学校3 未定1
 - ・音楽(17名) 大学9 短大5(内 有明短大0) 専門学校3 未定0
 - ・バレエ(35名) 大学11 短大3(内 有明短大1) 専門学校8 留学1
バレエ団・劇団2 研究所・スタジオ2 未定8
 - ・舞台芸術(17名) 大学3 短大1 専門学校8 留学0 劇団1 未定4
 - ・全体(84名) 大学25(29.8%) 短大18(21.4%) 有明短大6(7.1%) 短大に対する割合33.3% 専門学校22(26.2%) 未定16(19.0%)
 - ・今年度は有明短大への進学予定者が6名と昨年度の半分となった。短大進学予定者の33%が有明短大へ進学予定である。幼児教育コースでは短大進学予定者の56%が有明短大へ進学予定である。音楽コース、舞台芸術コースから有明短大への進学予定者はいなかった。次年度からは有明短大との関係を更に深め、本校での短大の先生による模擬授業の実施などを行い、幼児教育コース及びそれ以外からの進学予定者の増加も図ることが必要である。

6 学校生活への充実感を高める部(クラブ)活動の活性化

- ・合唱部、吹奏楽部、演劇部、ダンス部、バドミントン部、フットサル部、バレー部などの活性化
 - ・バドミントン部 ・品川区バドミントン大会出場
平成27年4月12日(日)品川区立戸越体育館
 - ・合唱部 ・第97回全国高校野球選手権大会の大会曲「栄冠は君に輝く」の収録
平成27年5月16日(土)昭和音楽大学テアトロ・ジューリオ・ショーワ
 - ・平成27年度東京都合唱祭への参加
 - ・平成27年7月11日(土)
 - ・新宿文化センターにて
 - ・平成27年度第82回NHK全国学校音楽コンクール東京都予選金賞、本選優良賞受賞
平成27年7月24日(金)府中の森芸術劇場(東京都予選)
平成27年8月6日(木)文京シビックセンター(東京都本選)
 - ・春のコーラスコンテスト2016に出場

- 平成28年2月7日(日) 北トピアさくらホール
- ・大森ベルポートで第九を歌おうの合唱に出場(昨年度までは大森ベルポートで実施)、司会者から本校の学校紹介をして頂いた。
- 平成27年12月23日(水) 品川区きゅりあん
- ・ダンス部
 - ・第62回東京都高等学校舞踊研究発表大会で最優秀賞受賞
 - 平成27年11月3日(火) 練馬文化センター
 - ・第68回全国中学校高等学校ダンスコンクールに参加
 - 平成27年11月23日(月) メルパルクホール
- ・吹奏楽部 校内での積極的な演奏活動を行った。(入学式、卒業式、日音祭、総合的な学習の時間の舞台発表(サウンドオブミュージックの上演))
- ・演劇部 東京都高等学校演劇連盟山手城南地区発表会に出場
 - ・平成27年9月23日(木、休日) 日本工学院専門学校6号館
- ・華道部 品川区民作品展に華道の作品を展示した。2年生4名と顧問が出展
- 平成27年11月11日(水)から11月15日(日)まで
- 品川区スクエア荏原 1階イベントホールにて

7 研修の充実…生徒の学習意欲の喚起、学力の向上、円滑な学級経営、分掌運営のできる教員の育成

- ・各分掌の会議、学年会などで具体的な生徒指導に係わる事例の報告があった場合には時機を逸することなく機敏に全教員で情報を共有するように朝の打ち合わせも含め行った。
- ・今年度は実施出来なかったが、担任の生徒指導、保護者対応に対して、校長、教頭を含め、教員全体がいつでも適切に支援できるようになるために、外部講師による教員の研修の機会を設けたい。
- ・教員の授業の能力を高めるための研究授業の実施とそれに基づく研修会の実施
 - ・平成27年7月16日(木)第4校時(11時40分から12時30分)
 - 兒玉有子教諭(英語)によるコミュニケーション英語Ⅱの、三年生34名(音楽コースと舞台芸術コース)に対する授業を全教員で授業参観した。
 - ・平成27年7月21日(火)9時から10時
 - 7月16日(木)第4校時に実施した研究授業に基づく全教員による研修会を実施した。
 - ・平成27年12月17日(木)第2校時(9時40分から10時30分)
 - 菅沼公和教諭(英語)によるコミュニケーション英語Ⅰの、一年生グレード別Bクラスの生徒 名に対する授業を全教員で授業参観した。
 - ・平成27年12月21日(月)10時から
 - 12月17日(木)第2校時に実施した研究授業に基づく全教員による研修会を実施した。
 - ・平成28年3月11日(金)第2校時(9時40分から10時30分)
 - 濱田教諭による第2学年舞台芸術コースの演技実習の授業を全教員で参観した。
 - ・平成28年3月22日(火)10時から
 - 3月11日(金)第2校時に実施した研究授業に基づく全教員による研修会を実施した。
- ・生徒による授業評価に基づき、教員全体での研修会を行うなど、一人ひとりの教員の授業力の向上に努め、生徒の授業への興味関心の喚起と理解度の向上を図った。
 - ・平成27年9月30日(水) 生徒による授業評価に基づく教員研修会(1回目)

- ・平成28年1月27日(水) 生徒による授業評価に基づく教員研修会(2回目)
- ・赤点を取った生徒への効果的な指導法について、朝学習、放課後講習の実体のある活用を含め、具体的な方策を指導法を含め引き続き検討する。
- ・授業への興味関心を高め、学習意欲を喚起するために教材研究や授業方法の工夫などが一人ひとりの教員によって進められている。今後はその実践報告を含め、研究授業の実施等も検討したい。

8 開かれた学校づくり…外部へ本校の教育内容と生徒の良さを積極的に広く情報提供

・学校運営連絡協議会の実施

平成27年6月25日(木) 実施

出席者は

| | | |
|--------|----------|--------------------|
| (外部委員) | 保護者代表 | 佐藤健一(父母と教師の会会長) |
| | 同窓会代表 | 埴京子(同窓会会長の代理として出席) |
| | 地域関係機関代表 | 蜂屋隆子(品川区立大崎中学校長) |
| | 地域社会代表 | 綱嶋信一(品川区商店連合会副会長) |
| (内部委員) | 校長 | 井田良克 |
| | 教頭 | 松本幸浩 |
| | 副教頭 | 渡邊裕子 |
| | 事務局長 | 根岸順一 |

- ・学校側から、本校の概要、教育活動の計画、魅力ある本校の教育内容、募集状況などについて説明した。募集を含めて本校への支援、協力を要請した。
- ・その後の情報交換の中で、地域の中に積極的に出てくる様になり日音の知名度も上がり、評判も良く成ってきているとのご意見を頂いた。今後も地域に出てきて更に日音、日音生の良さを伝えるために場所や機会の提供を続けるとのご意見も頂いた。
- ・校舎を新しくしただけでは生徒が増加するのは一時的である。教育活動の中身が大切である。古い校舎を大切に使うことで生徒の情操教育を行うことも出来るなど本校の実情に基づいた具体的な提言も頂いた。
- ・本校の公開行事への地域の方の参加も増えてきており、更に定着させ、中学生の入学の増加に繋げる方法の一つとして、来年度も年間一回開催する予定である。
- ・生徒の地域での活躍
 - ・生徒会が結成した防犯ボランティア「シンデレラへの道」による地域での防犯活動に対する荏原防犯協会からのユニホームの贈呈式
 - ・平成27年4月8日(水) 午前9時25分から9時40分頃まで
 - ・本校三浦記念ホールにて
 - ・荏原防犯協会の石井隆良会長から生徒会長大和田琴にユニホームの贈呈
 - ・その後、荏原警察署長南陽一氏からの挨拶、石井隆良会長からの挨拶
 - ・記念写真の撮影
 - ・荏原第五地区区民まつりへの参加
 - ・平成27年7月19日(日)、7月20日(月、祝日(海の日))
 - ・品川区立旧荏原第四中学校(私立朋優学院戸越校舎)にて
 - ・3年幼児教育コース ゆたか児童センターで赤ちゃんとの触れ合い講座に年間6回参加(全体12回)。企画にも関わりクリスマス会などを実施した。参加した赤ちゃんの母親から本校生徒へのお礼の気持ちと励ましがアンケートに寄せられた。

- ・品川区ホッケーフェスティバルの開会式での本校生徒の演奏及びダンス演技
平成27年9月26日（土） 品川区立中央公園
- ・品川区民芸術祭区民作品展に生け花を出品
スクエア荏原ひらつかホールにて、平成27年11月11日（水）から
11月15日（日）
- ・品川シルバー大学同窓会 音楽コースの生徒が演奏会に演奏で出演
品川区荏原文化センター、レクホールにて 平成27年12月9日（水）
午後2時から午後4時まで
（演奏内容）ピアノアンサンブル 6組
木管アンサンブル 4組
金管アンサンブル 1組
声楽アンサンブル 1組
合唱、全体合唱
- ・品川きゅりあんで第9を歌おうに参加
今年度で七年連続参加している（昨年度までは大森ベルポートにて実施）。司会者
から本校の学校紹介もして頂いた。
品川区きゅりあんにて 平成27年12月23日（水）
- ・地域の清掃、防犯活動に地域の方々、荏原警察署の方々と一緒に参加
学校周辺の地域で、数回実施した。
- ・授業、学校行事の積極的な公開
 - ・授業参観 平成27年12月10日（木） 舞台芸術コースの特別レッスン（本
校バレエコースの卒業生元宝塚宙組の琴羽桜子（本名上田亜希子）先生のダン
スの授業、第二学年の保健の特別授業実施。保護者が46名参観し、授業内容
についての好印象や日音での学校生活への感謝の気持ちなどをアンケートで述
べている。
 - ・日音祭 平成27年6月14日（日）
 - ・バレエコースによるコンサート（学校説明会と併せて） 9月12日（土）
 - ・総合的な学習の時間の舞台発表（サウンドオブミュージックの上演）
10月10日（土） 14回目の上演で、会場内に大きな感動を与えた内容。
 - ・舞台芸術コースのコンサート（学校説明会と併せて） 10月31日（土）
 - ・音楽コースのコンサート（学校説明会と併せて） 11月28日（土）
 - ・卒業公演 平成28年2月27日（土） 三年間の学習の成果の披露として4コ
ースの公演が行われ、立見が出る程参加者が多く内容についても好意的な評価が
ほとんどであった。
- ・学校施設の開放
 - ・平成27年度品川区立中学校PTA連合会活動発表大会
平成28年1月30日（土） 午後1時から5時 本校三浦記念ホールにて
品川区教育委員会の課長、教育総合支援センター長も挨拶に来られ、活発な発表
が行われた。
本校の学校案内と本校の品川区での活動内容を記載したA4版の資料を全参加者
に配布した（約300部）
大会の開始の冒頭で井田校長から本校の概要説明を行った。
主催者挨拶に先立ち司会者からの本校の紹介と主催者の品川区立中学校長会の会
長の佐藤勝荏原第六中学校長の挨拶の中で本校の特色についても触れて頂いた。

平成 27 年度日本音楽学校幼稚園事業報告

品川区では、0～1，2歳児を持つ若い世代の転入が増加し、緊急に保育園の増築が検討されています。JRの跡地には5年間暫定ではありますが0～5歳迄の大規模保育園が平成28年4月1日より開園された為、近隣の幼稚園は影響を受けています。

本園の状況は、母親が長時間就労している入園希望児や保育園と幼稚園の二股受験も増え、12月や2月になって保育園が決まったのでと入園辞退を申し出る等の今までに無い現象が現れてきました。

一方、品川区私立幼稚園協会18園は平成27年度も新制度への移行園はありませんでした。

その半面、1歳児、2歳児教室など、月決めにて徴収し（¥20,000～30,000）保育をする幼稚園が増え、園児獲得の低年齢化に進んでいます。

又、預かり保育は1園を除き、時間の長短はありますが17園が実施しております。

以上の状況を踏まえ、園児募集の為には確実な方法での工夫が必要と思います。

尚、預かり保育も補助金支給の条件が保育園に近い状況が求められてきましたので、本園の事情をふまえながらも、平日、長期期間共に休む回数を少なくするように努力していかねばと思います。

幼稚園を取り巻く環境は年々厳しさを増してきている様に思いますが、園児の心身共に健全な成長を願い、教員と保護者との連携を細やかにし園児を見守っていきたいと思いますので、次の報告をさせていただきます。

1 平成27年度、子どもの育ちへの年間教育重点目標についての報告

五領域より「言葉」を重点目標とし文部科学省からの要望もあり「絵本」に力を入れました。

《経験した事などを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う》

ねらい：①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。

②人の言葉や話しなどを良く聞き、自分の経験した事や考えた事を話し伝え合う喜びを味わう。

③日常生活に必要な言葉がわかるようになると共に、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる。

以上の件については、「絵本」は、週1回クラスでの貸出を行い、毎日、必ず「絵本」の読み聞かせや「紙芝居」の上演、生活発表では自分で意見を述べる事や教員や友達との会話等の体験の継続により各学年の発達に応じ「聞く力」「発言する力」も付いてきました。

又、特別支援を要する子ども達へは保護者への働きかけにより、専門機関に通う子は「言葉」に対する向上がみられます。

保護者も「絵本」に関心を持つ方が増え、家庭教育学級での取り組みに中でも「絵本」関係の講師を迎えて講演会を開いております。

2 教員の資質向上への取り組みについての報告

特別支援教育の研修には教員が出来る限り参加してきましたので、特別支援を要する園児への共通理解が出来る様になってきました。

そして、教員会や朝の打ち合わせの時間を利用して全園児や保護者への共通理解を深められるように努めました。

- ・外部研修への参加が今年度は出来にくかったと思いますので、一人でも二人でもが参加出来る様な工夫が必要だと思います。

3 特別強化授業についての報告

- ・英語やリトミックは園児が喜んで参加し、小学校に進んでからも幼稚園での学びが活かされ自信を持って学習に臨んでいるとの事です。

- ・体育に関しては、今年度も授業を受ける機会が少なかった為、出来る事は担任が指導にあたってきました。今後も基本的な事は普段の保育の中で身体を動かしていきたいと思います。

4 園と保護者とのつながりについての報告

子ども達の健全な心身の成長の為には、保護者の園活動への理解や協力は欠かせませんが懇談会、保育参観、個人面談、家庭教育学級への参加に於いて年々、出席者は限られております。

特に働いている母親の就労時間の長さや休みにくい等の状況がみられ、個々への対応が必要になっていきます。(特に園児が定期的に預かり保育を利用している家庭にその傾向がみられます。)

このような状況の為、個人面談では出席しやすい時間帯に来てもらう等の工夫をし、更に日々の事柄でも預かり保育担当者と担任との連携を密にしていく努力は欠かせません。

しかし、平日の日中に行われる行事が多い為、保護者同士でのコミュニケーションは取りにくいのが現状です。

5 預かり保育の強化についての報告

就労する母親が増え、預かり保育は長時間利用児や長期休業期間の利用児の増加がみられます。

又、補助金の支給条件も年々強化されてきましたので、工夫しながら条件に合う様にしてきましたが、教員の負担は増えていますので、専任教員の増加が必要だと思えます。

6 幼稚園と小学校との連携についての報告

一定の小学校とは給食体験(宮前、戸越)、就学時連絡会などと連携が出来てはいるのですが、今年度は17校にも進学先が広がっていた事もあり、関係事項についての書類や就学時連絡会に出向く等、年長の担任は多忙すぎたと思えます。

又、小学校からは職場体験として(宮前、戸越)の2校が来園しました。

連携は良い事とは思いますが当園の教員数が少ない事もあり、教員への負担が大きいのが現状です。

7 地域との関係についての報告

- 子育て支援として：園庭開放の実施（無料） 年間を通し 月1回 水曜日
午前11時45分～午後12時30分
- 子育て相談：無料にて園庭解放や2歳児教室開催の日に担当教員が行っています。

以上の事は今年度も実施し地域の皆様に好評でしたが、年々、参加者が1歳児からと低年齢化の傾向がみられます。

しかし、入園希望児への対策のひとつともなっておりますので、今後も力を入れて実施して行きたい事のひとつです。

8 平成28年度入園募集への取り組みについての報告

- 在園児から13名、卒園児4名計17名が入園、外部から18名を入園とし定数の35名を確保したのですが、二股受験の多さによる入園辞退や保育園に入れる事になったとの理由により、例年になく入園辞退が12月や2月と遅くなっての申し出があり追加の園児の受験者がありませんでした。
よって、平成28年度の3歳児入園は34名でのスタートとなりました。
- 2歳児教室での園児の確保を優先としながらも、保護者の中には保育園と幼稚園との選択に迷いもみられますので、2歳児教室においても事前に面接を行い確実な希望者を見極めていきたいと思えます。

平成 27 年度日本音楽学校保育園事業報告

《年間事業計画》

1 基本方針

- ・ 日本音楽学校保育園は保育園の基本方針・保育目標・保育方針を基本に保育課程に沿って年間指導計画を立案し、一人一人の園児の発達に合わせながら日々の保育を実践してきた。又、日本音楽学校がめざす建学の精神であるあいうえお（愛情・意欲・うつくしい言葉・笑顔・思いやり）を大切にし保育の充実に努めてきた。
- ・ 認可園 1 4 年目を迎え、0 歳児 9 名・1 歳児 1 1 名・2 歳児 1 1 名・計 3 1 名で保育を実施している。

2 保育実践

- ・ 年間を通してわらべうた・手遊び・表現遊び・製作や体育用具を使って、身体を動かす遊びを設定しバランスの取れた成長ができるように保育を進めてきた。絵本・パネルシアター・エプロンシアター人形劇・絵本の読み聞かせ等に触れる体験も多く持ち、想像力が豊かに育つように心がけてきた。子ども達の発達に合った職員による手作り遊具や、コーナー遊びを充実させ、模倣やごっこ遊びを楽しめる環境を用意した。
- ・ 公園での遊びを多く取り入れ、四季折々の自然に触れたり、いろいろな遊具で遊ぶことが出来た。
- ・ 天候等の関係で園外に行けない時は、ミニ集会を実施した。各保育士が創意工夫して、パネルシアター・寸劇・歌・リズム遊び等を 3 クラス合同で実施し、大好きな活動の一つなのでみんなで楽しめた。
- ・ 遊びのコーナーや飼育物の環境は、年齢の発達に合わせた内容や遊びの様子を見ながら工夫して進めてきた。自分の居場所があったり、興味のある遊具や身近な日常の生活の再現遊びを用意して、ごっこ遊びを楽しませてきた。保育時間が長い子ども達にとって、どんな環境の中で生活し、安心して楽しく遊べ成長できるかを考えあつて進めている。
- ・ 年間通して日本古来の行事や、保護者と共に楽しむ行事、誕生日会等も創意工夫し進め、どの会も保護者の参加人数が多く、楽しめたとの感想がたくさん寄せられ、職員も励みになっている。
- ・ 2 歳児は身近な野菜の栽培を体験し、食に関心を持ったり、クッキングについては、無理のないように 9 月から取り組んできた。毎回期待が大きく、自分で作る喜びとクッキングへの興味を増しながら楽しんで食材に触れ、自分で作ったものが口に入ることの喜びを味わった一年となる。3 月には 1 歳児クラスも参加し、進級の期待にも繋がった。調理職員の協力も良く、事前会議を持ち食材の準備やサポートの手順を確認しながら進めてきた。とても楽しい活動になっているので今後も進めたい。

3 地域交流

- ・ 全ての行事に地域の方をお誘いし、入園前の見学者も多いので、行事への参加を呼びかけて保育園の様子を伝えたり、公園などでの声掛けや、ポスターを掲示し、気軽に足を運んでもらい、園児と一緒に楽しんでもらえるようにしてきた。とどらあ祭では近隣の保育園の参加もあり盛り上がった。ハロウィンでは、地域の方々とのつながりもあり、お菓子を頂いたり身近に親しく交流をさせてもらっている。

施設見学来園者・・・6 2 名（出産前～2・2 歳児）年間通して来園有り。

- ・ 保育園との交流は、今年度も二葉保育園・ゆたか保育園の泥んこ遊び・夏祭り・焼き芋・餅つきの行事に参加させてもらったり、園の行事では「ベンちゃんと遊ぼう」「とどらあ祭り」「人形劇」等に来

て頂いた。特に地域の保育園交流では、自園では体験できない多くの事を体験させて頂いて、卒園後にも繋がっている。

- ・ 他園の保育士との交流が出来、お互いの情報交換や保育の参考になり学ぶことも多い。
- ・ ゆたか児童センターには0～2歳児が遊びに行き、三ツ木児童センターでも遊ばせてもらった。園にはない物があり楽しみな場所にさせてもらっている。来館してきた地域の方との触れ合いの場にもなっている。図書館の利用は社会に触れる経験となっている。
- ・ 園児の祖父母との交流実施。高齢者施設訪問は近隣に近く、今後チャンスを見つけ交流したい。

4 職務分担・職員勤務形態

- ・ 各係は計画を立て職員会議や事務連絡表にて全職員に知らせ、計画に沿って実施することができた。
- ・ 今年も大きい行事や保護者会等の後には、保護者より感想を伺いとどらあだよりでお知らせした。職員も親の思いが伝わるので、次の計画や保育内容に役立てることができた。玄関の「ホットフォト」もその日の事がタイムリーに分かり、親子の会話に繋がっている。撮影もこども達の様子が伝わるように、全員を載せ、笑顔のショットや園での様子を伝える様にしている。
- ・ 今年度も慣れている臨時職員に保育の補助や用務の仕事をしてもらったことで、充実した保育を実施することができた。
- ・ 0・2歳児クラスの保育時間が長いので、人数に応じたシフトの配慮をし、特に夕方疲れも出てくるので十分受け入れられるように、職員同士連絡を取り合って保育内容を確認しながら進めてきた。
- ・ 運営に関しては、常に事務所と連絡・相談し合いながら進めてきた。
- ・ 昨年に引き続き、経験の浅い職員指導では、個々に応じてより具体的に教えたり、時間を出来るだけ作って個別指導を重ねてきた。保護者が安心して子どもを預けられる保育士になるように、リーダー職員を中心に、皆で新人職員の育成に力を注いできた。

5 研修（園内自主研修及び園外研修参加）

(1) 園内研修

- ・ リズム遊び研修に参加・・・研修参加者が中心になって、園内で講習会を開き日常の保育やお楽しみ会の集会・運動会音楽会に取り入れた。
- ・ 品川区主催の研修への参加を、職員会議で還元して学んできた。

(2) 園外研修

平成 27 年度研修実施一覧

日本音楽学校保育園

| 月 日 | 研 修 名 研 修 内 容 | 講 師 | 時 間 対 象 者 | 受 講 料 |
|--------------|---|-------|-------------------------|---------------------------|
| 5月26日 (木) | 「子育て支援について」 ・ 気になる子の理解と支援 | 上原芳枝氏 | 14時～17時 芝崎 保育士 | 品川区主催 無料 |
| 6月19日 (金) | 給食担当者衛生講習会 品川区保健所食品衛生担当 | | 15時30分～17時15分 安藤 保育士 | 品川区主催 無料 |
| 7月29日 (水) | 芸術教育研究所・音楽&絵本遊びセミナー 『リトミック遊び・絵本から広がる』 津村一美・頭金多絵氏 | | 10時～16時 芝崎・與崎 保育士 | 8,300円 ×2 (16,600円) |
| 8月8日 (土) | こどものとも社「文化セミナー」 ・『いま、保育の質で大切なこと』 大豆生田啓友 氏 ・『積み木という選択肢から保育を考える』 脇淵壘郎 氏 ・『絵本で遊ぶ』 さとうわきこ 氏 | | 10時30分～17時 小川 保育士 | 6,500円 ×1 (6,500円) |
| 8月11日 (火) | 学研・夏の講習会 「遊び歌・リズム遊び・絵本・パネルシアターで 保育力アップ！」 | | 10時～18時 | 3,600円 ×4 (14,400円) |
| 8月12日 (水) | 大友剛氏・新沢としひこ氏・ケロポンズ他 | | 安藤・木田・大河内・ 竹元 保育士 | |
| 9・8 (火) | 「子育て支援について」 秋山千枝子氏 | | 14時～17時 田中 保育士 | 品川区主催 無料 |
| 11・27 (金) | 「保育技術講演会」 土井美香子氏、瀧上豊氏 | | 14時～17時 小川・竹元 保育士 | 品川区主催 無料 |
| 1・27 (水) | 「特別支援講演会」 楠田絵美 氏 | | 14時～17時 藤巻 保育士 | 品川区主催 無料 |
| 2・3 (水) | 「食育講演」 堤ちはる 氏 | | 14時～17時 木田 保育士 | 品川区主催 無料 |
| 9月25日 (木) | 「救命救急・AED・CPRの扱い実技講習」 日本音楽高等学校 養護教諭 児島智美 氏 | | 13時30分～15時 全職員 | 日本音楽高等 学校 |

*主任保育士研修会・平成27年12月9日～11日・・・主任 安藤 受講

<厚生労働省日本保育協会主催>

6 年間保育内容（園児状況）・行事状況

一期（4・5・6月）

- 新入園児12名が入園、欠員なしの31名の受け入れ。
アレルギー児状況・・・0歳（卵・小麦粉）2名 1歳（卵・白身魚鯛）1名
0歳 心臓疾患（納豆除去）1名
 - 見守り家庭・・・母子関係で2名 各機関との連携有り。
 - ・ 年間を通して有明短期大学・高等学校等の実習生・ボランティアを受け入れる。
 - ・ 4月「全体保護者会」園の基本方針や保育計画・行事予定等説明する。5～6月保育参加実施。
 - ・ 4月「はじめましての会」、5月「こどもの日のお祝い」実施。
 - ・ 4月より「ベンちゃんと遊ぼう会」を開始（月1回2歳児中心に製作遊び）。
 - ・ 5・6月「母の日」「父の日」・・・ファミリーデーとし手作りプレゼントをする。
 - ・ 交流保育：区立ゆたか保育園でどろんこ遊び体験。ゆたか保育園を招き表現遊び等で交流して遊ぶ。
 - ・ 夏野菜の栽培（トマト・サツマイモ等）ひまわりの水やり収穫を楽しむ。飼育体験（亀・金魚等）
- *避難訓練毎月実施及び避難用品・非常食確認。

二期（7・8・9月）

- ・ 7月「プール開き」、9月始め「プール閉め」学生会館で実施。
- ・ 7月「七夕の会」・9月「お月見」2歳児が団子作り体験。「敬老の会」祖父母12名参加。
- ・ 9月「とどらあまつり」学生会館と中庭で実施。二葉・ゆたか保育園や日音の幼稚園児、保護者も参加。

三期（10・11・12月）

- ・ 10月「運動会」雨天で中ホールにて実施。『絵本』をテーマにし、各競技になじみの話を取り込む。「ハロウィン」保護者の協力が有り盛り上がる。地域の方との交流もでき、お菓子まで頂く。
- 11月「個人面談」実施。家庭の様子や園の生活、子育ての相談。「お楽しみ会」みちくさサークルによる人形劇。二葉・ゆたか保育園も参加あり。 *サツマイモの収穫
- ・ 12月「小さな音楽会」一年間交流してきた高校生幼児コース出演好評。参加人数81名。
「クリスマス会」昼食とおやつは手作り会食。フジ産業スタッフ（調理）の子ども達への思い伝わる。

四期（1・2・3月）

- 1月「新年おめでとう会」獅子舞登場。2月「豆まき会」・「保護者会」実施。
- 3月「ひな祭り会」ひな人形製作。会食用意。「うさぎ組おわかれ遠足」品川水族館へ行く。父母13名参加。
「お弁当遠足」園で弁当を用意し、近隣の公園まで行く。
「お楽しみ会」絵本の読み聞かせの方招き楽しむ。
2才児「ピザ」作り、「クッキー」作りは1・2合同で実施。
- 平成28年度新入園児健康診断及び面接11名実施。2才児1名欠員。
- 3月30日「さようなら会」小ホールにて実施。82名参加。全保護者参加で卒園・転園・進級を祝い、保育証書授与も行う。卒園児11名・・・幼稚園へ2名・保育園へ9名、0・1才児で途中転園4名。
- ◎今年度は心身症等の保護者や子ども対応で見守りの親子への関わり、心臓疾患・アレルギー児等で、より細かい確認や連絡の共有を密に取り進めた一年だった。
- ◎保護者より行事等いろいろ工夫あり、親子・家族皆で子育てを楽しむ事が出来たとの感想を頂く。